

2012年12月21日

新・ISO方式ホイール装着車をお使いのお客様へ

新・ISO方式ホイール装着車において、タイヤ交換時の締付け不良(ホイールナットの締付け不足)によるものと思われる脱輪事例が報告されています。

タイヤ交換作業にあたっては、車載の「取扱説明書」や下記「締付け手順」を参照して、正しい取扱い(交換作業)をしていただくとともに、必ず「規定の締付けトルク」でホイールナットを締付けるよう お願いいたします。

※ 締付け不良 (ホイールナットの締付け不足) とは、「仮締めのまま本締めしなかった」「間違った (低い) トルクで締付けた」「締付けるつもりで緩めるなどねじの締付け方向を間違った」などが考えられます。

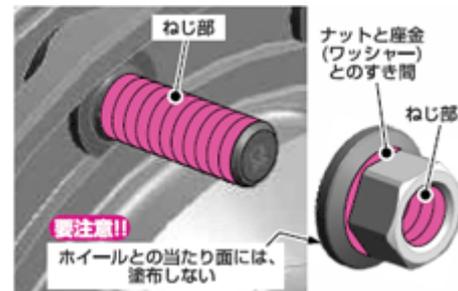
【新・ISO方式ホイールの締付け手順】(ホイール取付け作業)

(1) ディスクホイール、ハブ、ホイールボルト、ナットの清掃

・錆やゴミ、泥などを取り除きます。

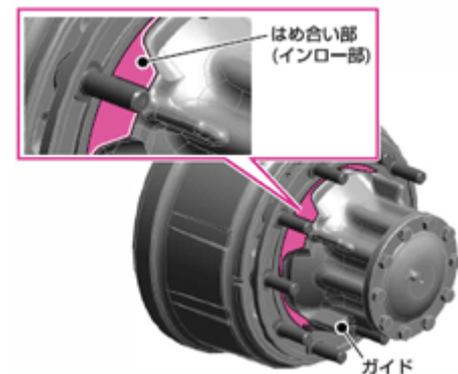
(2) ホイールボルト、ナットのねじ部の潤滑

・ボルト、ナットのねじ部、ナットと座金(ワッシャー)のすき間にエンジンオイルなどの潤滑剤を薄く塗布します。



(3) ハブのホイールはめ合い部(インロー部)へのグリース塗布

・ホイールの固着を防止するため、グリースを薄く塗布します。



(4) ホイールの取付け

・ハブのはめ合い部(インロー部)のガイドにそって、奥まで押込みます。

(5) ホイールナットの締付け

・締付けは、対角線順に 2～3 回に分けて行い、最後にトルクレンチなどを使用して規定のトルク 550～600N・m(55～60kgf・m)で締付けます。

※ 締付けトルクは、「タイヤ空気圧ラベル」の近くに表示しています。



〔注意点〕

- ・左車輪も右ねじです。ホイールボルト先端の右ねじを示す刻印「R」を確認の上、ねじの締付け(緩め)方向を確かめて作業してください。
- ・50～100km 走行後を目安に増し締めを行ってください。

= 目視や点検ハンマーによる日常点検の確実な実施をお願いします =

【参考】

〔新・ISO 方式ホイール装着車〕

排出ガス規制・ポスト新長期規制適合車の内、おおよそ車両総重量 12 トン以上の 19.5 インチと 22.5 インチ・ホイールを装着するトラックとバス。

〔参考資料〕

新・ISO 方式ホイールの詳しい取扱い(点検・整備)方法は、一般社団法人 日本自動車工業会のホームページにも掲載されています、合せてご覧ください。

- ▶ [新・ISO 方式ホイール取扱いガイド \(PDF:2.3MB\)](#)
- ▶ [中・大型トラック・バスのホイールナット締付けトルク \(PDF:1.03MB\)](#)